

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第071号(通算)

令和4年9月30日(金)発行

いよいよ9月も本日まで。月末のことを晦日(みそか)といいます。12月31日は、今年最後の晦日と言うことから「大晦日(おおみそか)」と言ってます。9月最大の行事である体育祭を終え、明日からは10月となります。本校伝統の33km遠行も実施されます。秋の南薩路をみんなで走ったり、歩きましょう。沿道には、普段はなかなか気づかない興味深い景色が隠れているかもしれません。

ひまわりと数学

秋の夜長に数学の世界を楽しんでみませんか？ 夏を代表する「ひまわり」を考察します。



【粟ヶ窪小近くの畑に咲いていたひまわり】

大輪の花を咲かせるひまわりは堂々として見応えがあります。今回は、「ひまわりの種」を観察します。中心部から周辺部に並んだ種は螺旋(らせん)状に並んでおり、不思議なことに、右回り(時計回り)曲線と左回り(反時計回り)曲線の並びとして二通りに見ることが出来ます。そこで、右回りと左回りの曲線を数えてみると、これまた不思議なことに、自然界には、

・右回りが21本、左回りが34本

・右回りが34本、左回りが55本

・**右回りが55本、左回りが89本(写真)**

の3つのパターンしか存在しません。

21, 34, 55, 89

の4つの数が使われていますが、これは『フィボナッチ数列』の一部です。

それでは、フィボナッチ数列の定義は、

「1, 1」から始まり、前の二つの数字を足したものをドンドン並べていったもの

となります。実際の数列は、

1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, 144, ……

が並んでいます。太字の部分は、ひまわりの種が並んだ螺旋の数と一致しています。このようにひまわりの種の並びにはフィボナッチ数列が隠れているのです。では、なぜひまわりの種の並びがフィボナッチ数列になっているのでしょうか。それは、ひまわりができるだけ多くの種を持つためにはこの数列を利用すると一番効率がよいことを知っているからです。円形の部分に一番多くの種を保有できる並びがフィボナッチ数列となる並びとなります。こういうことをひまわりが知っているということは、不思議ですが、次の世代に子孫を残す確率が高まるようにひまわりは自然にフィボナッチ数列を選ぶように進化した(対応できたものだけが生き残った)ということになります。



数学に興味がある人は、放課後など、気軽に校長室まで話に来て下さい。待ってます。

3 年 生 激 励 会

令和4年9月10日(土)



第75回神戈陵祭 体育祭のプログラムの中で『3年生激励会』が実施されました。校長からの激励の言葉は、「あきらめないことだ。一度あきらめると習慣になる」「焦らない。でも、あきらめない。」の2つで、受験を登山に例えると、自分のペースを守って、人と比べずに歩き続けることが、結果として「あきらめずに登り続ける」ことにつながると言うことを伝えました。



保護者代表有田様からの激励の言葉



1・2年生の応援団から 3年へのエール



3年生代表の上牧さんから お礼の言葉

2 学 年 P T A

令和4年9月14日(水)



この日、2学年PTAが開催され、修学旅行に対する業者からの説明と3年次コース選択について説明が行われました。進路実現の準備が間近に迫ってきています。また、教育講演会として、講師に日本エアコミューター(株)より客室乗務員の古里理恵様と大和美沙紀様のお二人をお招きし、生徒と保護者が聴講しました。演題は、「おもてなしマナー講座」でCAとしての業務を通じたわかりやすい講演でした。マナーとは、相手の立場に立って考え、相手によることで頂きたいという「心」を「形」として発することであると教えて下さいました。また、**笑声(えごえ)**(相手の心に届く声)を心掛けたいと思います。



生徒・保護者から質問もありました。